2．踏査概要　（1）雪裡川上流部（視察箇所③）

■視察状況

合同現地視察状況

河道の状況

■視察で確認できた事項

- 現地踏査の対象地点は、局部改良工事（H5～H12）で改修された箇所である。
- 河川改修により蛇行していた河道を一部直線化し、床止めが施工されている。河床低下の進行に伴い床止めが破損している。
- 河床・河岸には溶結凝灰岩が露出し、視察視点では1m程度の落差が生じている。
- 河床低下がどのような原因で、いつから進行したのか、検討する必要がある。

2．踏査概要　（1）雪裡川上流部（視察箇所②）

■視察状況

合同現地視察状況

河道の状況

■視察で確認できた事項

- 現地踏査の対象地点は、局部改良工事（H5～H12）で改修された箇所である。
- 比較的広く、河道が緩やかに蛇行している。
- 一部、河岸に溶結凝灰岩が露出しているが、比較的川幅が広く、河床は安定しているものと思われる。
- この区間では、なぜ河床が安定しているか、河道特性を把握していく必要がある。

2．踏査概要　（1）雪裡川上流部（視察箇所①）

■視察状況

合同現地視察状況

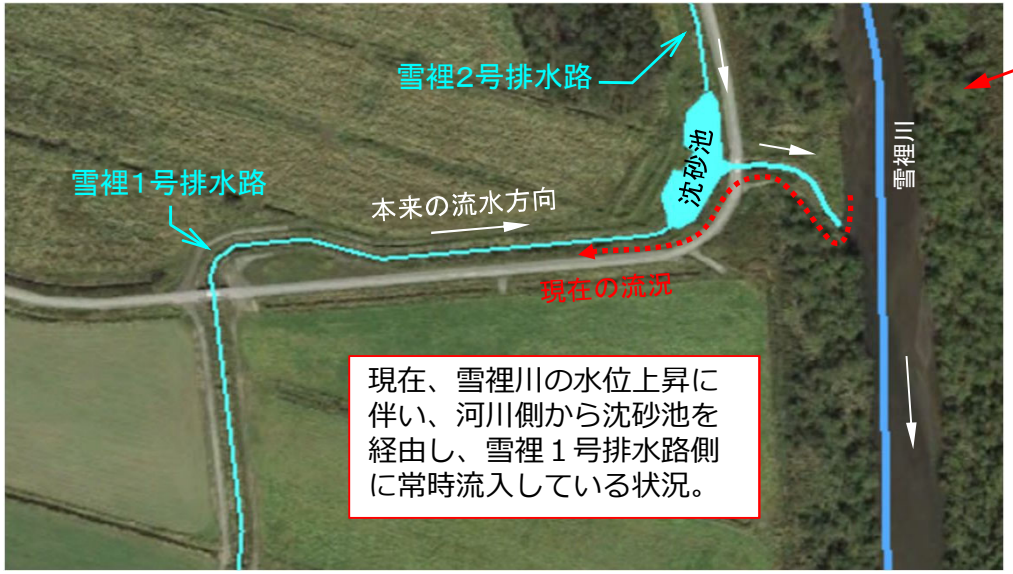
河道の状況（床止め工の破損）

■視察で確認できた事項

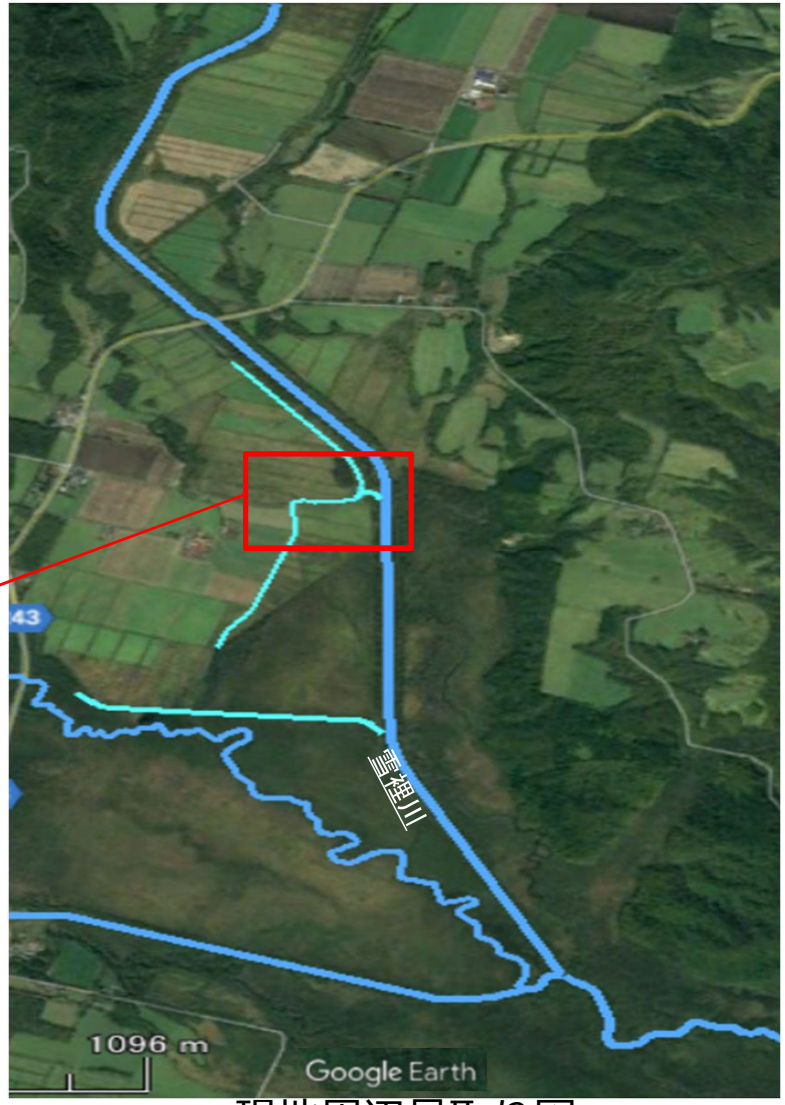
- 現地踏査の対象地点は、局部改良工事（S56～H2）で改修された箇所である。
- 河川改修により、床止め、護岸が整備されている。
- 床止めの直下流に3m程度の落差が生じており、根固めブロックが流出するなど帯工が破損している。
- どのようなことが原因で床止めが破損したのかメカニズムを把握する必要がある。
- 河床低下の進行を軽減するため、どのような対策が適しているか、今後検討する必要がある。

2．踏査概要　（2）雪裡川沈砂池

- 現地踏査地点は、国営総合農地防災事業「鶴居第２地区」（事業期間 H18～H24）で整備された、農業用排水路（２条）の起点合流部に位置する沈砂池周辺。
- 当該事業完了時は、農地の排水改良施設として、農業用排水路及び沈砂池を経由し、河川本川となる雪裡川に流下していたが、近年は、雪裡川本川の土砂堆積等が要因とされる河川水位の上昇に伴い、河川本川から農業用排水路への逆流が発生。
- 上記を踏まえ、本地域を対象とした自然再生事業の検討に向けて、現状確認及び農地の被害状況等の説明を実施。



現地踏査位置及び雪裡川からの逆流状況図



現地周辺見取り図